

E 普及・参考事項並びに試験研究の成果

1. 令和6年普及奨励事項、普及推進事項、指導参考事項、研究参考事項並びに行政参考事項

令和5年度北海道農業試験会議(成績会議)において、当年度までに完了した試験研究成績について、普及、研究、行政に提供される事項を決定した。そのうち、現場が担当または分担した提出課題(農業資材・農業機械性能調査関係課題を除く)は次のとおりである。

(1) 普及奨励事項

該当無し

(2) 普及推進事項

該当無し

(3) 指導参考事項

(作物開発部会)

○りんご「ひめかみ」および「ほおずり」の高接ぎ一挙更新法と加熱加工向け適正着果量(中央農試作物開発部作物グループ)

○北海道における醸造用ぶどうの品種特性および気象条件からみた糖度酸度予測(中央農試作物開発部作物グループ)

(生産技術部会)

○水稲「そらきり(空育195号)」の栽培管理指標(水田農業グループ、上川農試研究部生産技術グループ)

○水稲「えみまる」の湛水直播栽培における窒素施肥技術(水田農業グループ、上川農試研究部生産技術グループ)

○水稲に対するけい酸入り肥料「元気サプリ8号」の施用効果(水田農業グループ)

○水稲育苗用培土「パールマットV」の成苗に対する育苗適応性(水田農業グループ、上川農試研究部生産技術グループ)

○水稲育苗用培土「HB-2301」の成苗および中苗に対する育苗適応性(水田農業グループ、上川農試研究部生産技術グループ)

○土壌物理性に起因したそば生産阻害要因と改良技術の実証(農業環境部環境保全グループ、空知農業改良普及セ

ンター 北空知支所)

○園芸作物における堆肥入り複合肥料の特性と活用法(農業環境部生産技術グループ、道南農試研究部生産技術グループ)

○草地整備時に施工した浅層暗渠の効果検証(農業環境部環境保全グループ、酪農試験場草地研究部飼料生産技術グループ、酪農試験場天北支場地域技術グループ)

○岩宇地域におけるねぎの高単価規格比率向上に向けた栽植密度・施肥技術の検討と実証(企画調整部原子力環境センター駐在)

(病虫部会)

○令和5年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫(北海道立総合研究機構農業研究本部、北海道農政部技術普及課)

○多発傾向に対応した秋まき小麦の赤さび病防除対策病虫部病害虫グループ、北見農試研究部生産技術グループ)

○青色LEDを利用した大豆のマメシンクイガ防除技術(病虫部病害虫グループ、道南農試研究部作物病害虫グループ)

(4) 研究参考事項

(生産技術部会)

○黒大豆の加工時皮切れ耐性の評価法(中央農試加工利用部農産品質グループ、十勝農試研究部豆類畑作グループ)

(5) 行政参考事項

該当無し

2. 論文ならびに資料

(1) 研究論文、試験成績

作物開発部

○Shun Sakuma, Naho Rokuhara, Shizen Ohnishi, Hironobu Jinno, Yoko Yamashita & Hiroyuki Tanaka. Mutation of the wheat homeobox gene Grain Number Increase 1 increases grain number and grain yield but decreases grain protein content. *Euphytica* 220, 64(2024). DOI:10.1007/s10681-024-03327-0

水田農業部

○ Anibal Morel Yurenka, Hideki Kurosaki. Analysis of stability and seed yield of soybean (*Glycine max* (L.) Merr.) promising lines in Paraguay. *Revista Industrial y Agrícola de Tucumán* 100(1), 11-19 (2023)

○ Hideki Kurosaki, Shigekazu Koyano, Satoshi Aoyama. Effects of shading, soil moisture, fertilizations and sowing time on isoflavone content of soybean seed in Hokkaido. *Plant Production Science* 26(4), 364-377 (2023)

○ Shun Sakuma, Yoko Yamashita, Takako Suzuki, Shuhei Nasuda. A Catalog of *GNI-A1* Genes That Regulate Floret Fertility in a Diverse Bread Wheat Collection. *Plants* 13(3) (2024)

○Shun Sakuma, Naho Rokuhara, Shizen Ohnishi, Hironobu Jinno, Yoko Yamashita, Hiroyuki Tanaka. Mutation of the wheat homeobox gene *Grain Number Increase 1* increases grain number and grain yield but decreases grain protein content. *Euphytica* 220(64) (2024)

加工利用部

○小宮山誠一, 本田博之, 池谷聡, 阿部珠代, 中道浩司, 佐々木亮, 竹内薫. 近赤外分光法によるテンサイシヨ糖含量の非破壊連続測定法. *日本食品科学工学会誌*. 70(5), p. 187-194 (2023)

農業システム部

○白井康裕, 原圭祐. 生産費データを用いたスマート農業技術の経済性評価—秋まき小麦の可変施肥技術を事例に—. *農業経営研究*. 61(4), p. 1-7 (2024)

○石倉究, 笛木伸彦, 原圭祐, 丹羽勝久, 瀬下隆. 衛星画像と地形情報を活用した圃場内の土壌物理性不良エリアの評価 I. 保水性不良. *日本土壌肥料学会誌*. 95(1), p. 11-20 (2024)

○石倉究, 笛木伸彦, 原圭祐, 丹羽勝久, 瀬下隆. 衛星画像と地形情報を活用した圃場内の土壌物理性不良エリアの評価 I. 排水性不良. *日本土壌肥料学会誌*. 95(1), p. 21-29 (2024)

農業環境部

○鈴木慶次郎, 坂口雅己. 堆肥および後作緑肥が道央低地土たまねぎ畑の土壌炭素貯留量に及ぼす影響. *農業および園芸*. 99(3), p. 218-224 (2024)

企画調整部

○Sachiko Ikeda, Shinji Yasuoka, Damping-off of onion: a new symptom caused by soilborne *Botrytis byssoides*. *Journal of General Plant Pathology*, 89, p.260-265(2023)

(2) 口頭発表 (ポスター発表含む)

作物開発部

○道満剛平, 西村努, 鴻坂扶美子. 2023年中央農試の小豆低収要因と播種期による収量変動. *日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報* 64, p8-9 (2023)

○鴻坂扶美子, 大西志全, 黒崎英樹. ダイズわい化病の発病率に及ぼす気温の影響. *日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報* 64, p36-37 (2023)

○道満剛平, 大西志全, 神野裕信, 前野眞司, 相馬ちひろ, 其田達也, 伊藤裕之, 中丸観子, 池永幸子, 八田浩一. 北海道での有用なコムギ赤さび病抵抗性遺伝子と抵抗性遺伝子 *Lr34* の効果. *日本育種学会第145回講演会* (2024.3.16-17, 東京大学)

○木下雅文, 道満剛平, 堀川謙太郎, 山下陽子, 阿出川さとみ, 相馬ちひろ. 北海道における密粒直立穂多収遺伝子 *DEPI* を導入した水稻育成系統の特性. *日本育種学会第145回講演会* (2024.3.16-17, 東京大学)

○島田直人, 白澤健太, 山口直矢, 佐藤三佳子, 吉田昌幸. オウトウ育種の効率化を目指した果実形質のゲノミック予測モデル作成と検証. *日本育種学会第145回講演会* (2024.3.16-17, 東京大学)

○山下陽子, 西村努, 池永充伸, 佐藤博一, 尾崎洋人, 宗形信也, 木下雅文, 丸田泰史, 佐藤圭, 漆畑裕次郎, 阿部珠代. 多収でいもち病圃場抵抗性“強”の北海道向け水稻新品種「そらきらり」の育成. *日本育種学会第145回講演会* (2024.3.16-17, 東京大学)

○山口直矢, 五十嵐秀成, 高橋春南, 萩原誠司, 鈴木千賀, 小林聡. ダイズ育種事業における収量関連形質のゲノミ

ック予測精度. 日本育種学会第 144 回講演会. 育種学研究 25 (別 2), p. 57 (2023).

○長澤秀高、堀内優貴、中川浩輔、佐藤博一、奥山昌隆、佐藤仁、萩原誠司、山口直矢、鴻坂扶美子、田沢暁子、村田暢明. コンバインによるダイレクト収穫でロスが少ないアズキ新品種「十育 180 号」の育成. 日本育種学会第 144 回講演会. 育種学研究 25 (別 2), p. 143 (2023).

○山口直矢. R shiny を用いたブラウザ上で操作可能なゲノム育種ツールの開発. 園芸学会 園芸作物バイオインフォマティクス入門 7 (2023).

○佐藤圭、栢森美如、堀川謙太郎、長濱恵、長澤秀高、堀内優貴、相馬ちひろ、鈴木孝子. 「きたひまり」由来アズキ茎疫病抵抗性遺伝子の座乗領域. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報 64, p. 6-7 (2023).

○細川優介、長澤秀高、堀内優貴、山口直矢. アズキ品種の遺伝子型・環境相互作用と収量安定性に関する AMMI および GGE バイプロット分析. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報 64, p. 10-11 (2023).

○斉藤涼介、山口直矢、石川吾郎、其田達也、木内均、森田耕一、佐藤優美、大西志全. 北見農試秋まき小麦育成系統の育種データを用いた重要な農業形質と一次加工適性に関するゲノムワイドアソシエーション解析. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報 64, p. 58-59 (2023).

○相馬ちひろ、大西志全、神野裕信、阿出川さとみ、鈴木孝子. 異なるコムギ縮萎病抵抗性 QTL が及ぼす影響. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報 64, p. 60-61 (2023).

○堀川謙太郎、阿出川さとみ、相馬ちひろ、鈴木孝子. 北海道の秋まき小麦におけるコムギ縮萎病ウイルス (SBWMV) の感染に関する基礎調査. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報 64, p. 62-63 (2023).

○阿出川さとみ、堀川謙太郎、田中義則、鈴木孝子. 道総研の育種事業を支援する系譜追跡 Web-DB システム Pedigree Tracer (PEDIT) の開発. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 16 (2024).

○山口直矢、田中啓介、細井昂人、中川浩輔、佐藤博一. 北海道のインゲンマメ早生品種に見られるダイズ E3 オルソログの機能欠損変異. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 47 (2024).

○堀川謙太郎、栢森美如、白澤健太、山口直矢、相馬ちひろ、佐藤圭、長濱恵、小倉玲奈、藤根統、東岱孝司、村田暢明、長澤秀高、堀内優貴. 育種事業データを活用したアズキ茎疫病抵抗性に関するゲノムワイドアソシエーション解析. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 48 (2024).

○品田博史、山口直矢、白澤健太. ゲノム解析を用いたバレイショ育種選抜の可能性. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 49 (2024).

○五十嵐秀成、加賀秋人、山口直矢. 多収無限伸育型ダイズの育成に向けた北海道における粒大の育種選抜指標. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 64 (2024).

○細川優介、吉田邦彦、関口建二、長澤秀高、白澤健太、山口直矢. アズキの機械収穫適性評価と理想草型に関する考察. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 65 (2024).

○佐藤圭、長澤秀高、阿出川さとみ、相馬ちひろ、鈴木孝子. 「赤豆」由来アズキ落葉病抵抗性に関するゲノム領域. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 66 (2024).

○中川浩輔、堀内優貴、佐藤博一、長澤秀高、奥山昌隆、佐藤仁、萩原誠司、山口直矢、齋藤優介. 倒れにくく葉落ちが優れるインゲンマメ (手亡類) 新品種「舞てぼう」の育成. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 70 (2024).

○丸田泰史、佐藤圭、冨田謙一、相馬ちひろ、奥山昌隆、鈴木孝子. 小麦蒔培養における W14 培地の改良と北海道の小麦育種への適用性評価. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 113 (2024).

○大西志全、堀川謙太郎、森田耕一、相馬ちひろ、佐藤優美、其田達也. 既知コムギ赤かび病抵抗性 QTL の新規アリルはコムギ赤かび病抵抗性母本「北系 1932」および「北系 1976」の育成において重要な役割を果たした. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 177 (2024).

○林和希、斉藤涼介、其田達也、島田翔太、大西一光、堀川謙太郎、佐藤圭、大西志全. 北海道コムギ育種における半矮性遺伝子 Rht8 の有用性の検証. 日本育種学会第 145 回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p. 186 (2024).

○Analysis of the genomic region associated with pre-harvest sprouting tolerance identified in gamma-ray irradiated wheat mutant. Shoya Komura, Hironobu Jinno, Tatsuya Sonoda, Youko Oono, Hirokazu Handa, Fuminori Kobayashi, Kentaro Yoshida. 15th ISPHSC 国際穂発芽シンポジウム (2023.10)

水田農業部

○鈴木直人 (中央水田), 花城勲, 藤田直子. 未分解胚乳澱粉のゲルろ過法を用いたアミロペクチンの分子量の推定. 第 72 回日本応用糖質科学会 2023 年度大会 (2023. 9. 13-15. 那覇市)

○五十嵐俊成. Global warming changes the molecular

structure of rice starch, affecting its suitability for processing and eating quality. 3rd ICC Asia Pacific Grain Conference (2023. 11. 8-10. 中国)

○山下陽子, 西村努, 池永充伸, 佐藤博一, 尾崎洋人, 宗形信也, 木下雅文, 丸田泰史, 佐藤圭, 漆畑裕次郎, 堀川謙太郎, 阿部珠代. 多収でいもち病圃場抵抗性“強”の北海道向け水稻新品種「そらきらり」の育成. 日本育種学会第145回講演会. 育種学研究 26 (別 1), p.138 (2024. 3. 17)

加工利用部

○小林哲也, 山崎浩司, 梶田路津子, 能登裕子, 渡邊治. 冷蔵加工食品の加熱殺菌条件と保存性. 日本缶詰びん詰レトルト食品協会第72回技術大会(東京). 缶詰時報 102, p. 963 (2023. 11. 8)

○梶田路津子, 小林哲也. にんじんのロングライフチルド加工におけるブランディング条件の検討. 日本食品科学工学会北海道支部大会(網走市). 日本食品科学工学会令和6年度北海道支部大会講演要旨集, p. 36 (2023. 3. 10)

○竹内薫. 北海道らしさのある穀類粉と小麦粉のブレンド特性. 令和5年食品加工研究センター研究成果発表会(札幌市). (2023. 04. 27)

○竹内薫. 小麦品種が異なる食パンの風味の官能評価. 2023年度日本調理科学会東北・北海道支部会(仙台市). (2023. 06. 10)

○竹内薫. 春まき小麦の製パン性変動要因の解析. 日本食品科学工学会第70回記念大会. (2023. 8. 26)

○竹内薫. コーングリッツを使用したパンの官能特性と嗜好性の関係. 日本調理科学会2023年度大会(県立広島大学). (2023. 09. 10)

○竹内薫. コーヒーシルバースキンの配合が小麦粉生地物性と加工適性に及ぼす影響. 日本食品科学工学会令和6年度北海道支部大会. (2024. 03. 10)

遺伝資源部

○足利奈奈, 林和希, 斉藤涼介, 佐藤三佳子, 道満剛平, 来嶋正朋, 平山裕治, 大西志全. CIMMYTの遺伝資源を利用して育成した多収春まきコムギ系統「北見春83号」. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報 64, p64-65(2023).

農業システム部

○山田洋文. 北海道稲作における技術革新に向けた課題—スマート農業技術の現状と低コスト・省力化技術の経営評価を通して—. 2023年度北海道農業経済学会大会(2023)

○木村智之, 石倉究, 細川優介, 原圭祐. 衛星画像を用いた秋まき小麦の茎数推定手法. 農業環境工学関連学会2023合同大会(2023)

○木村智之, 大畑美結, 関口建二, 吉田邦彦, 細川優介, 原圭祐. 施肥および農薬散布における余剰散布面積推定手法の開発. 日本農作業学会春季大会(2024)

○石井耕太, 稲野一郎. 消化液を利用した再生敷料生産時のGHG発生量の測定. 日本農作業学会春季大会(2024)

○稲野一郎. 北海道における大規模畑作及び転換畑における農作業技術開発. 日本農作業学会春季大会(2024)

農業環境部

○須田達也, 藤田一輝, 竹内晴信. 北海道深川市におけるソバ収量に影響を及ぼす土壌要因の解析. 日本土壌肥料学会2023年度愛媛大会. 講演要旨集第68集(2022. 9. 12-14. 松山)

○八木哲生, 森下瑞貴, 高田裕介. 衛星リモートセンシングデータを活用した土層中のグライ特徴の識別可能性. 日本土壌肥料学会2023年度愛媛大会. 講演要旨集第69集(2023. 9. 12-14. 松山)

○河野桜, 佐々木綾子, 田島亮介, 西田瑞彦. 三陸沿岸地域におけるイネごま葉枯病と土壌化学性の関係. 日本土壌肥料学会2023年度愛媛大会. 講演要旨集第68集(2022. 9. 12-14. 松山)

○小谷野茂和, 新村昭憲, 櫻井道彦, 西脇由恵, 谷藤健, 杉川陽一, 福川英司. 安定確収のための秋まき小麦有機栽培技術. 日本土壌肥料学会2023年度北海道支部秋季大会. 講演要旨集(2023. 12. 8. 札幌)

○八木哲生, 杉川陽一, 高橋尚大, 畠山重文. 生産現場データの解析に基づく秋まき小麦の栽培管理改善の可能性～オホーツク地域における播種時期および追肥時期の検討～. 日本土壌肥料学会2023年度北海道支部秋季大会. 講演要旨集(2023. 12. 8. 札幌)

○竹内晴信, 須田達也, 河野桜, 塚本康貴, 板垣英祐. 北海道における醸造用ぶどう圃場の土壌理化学性実態. 日本土壌肥料学会2023年度北海道支部秋季大会. 講演要旨集(2023. 12. 8. 札幌)

病虫害部

○齊藤美樹. マメコバチ巢筒の温湯処理によるツツハナコナダニ防除法の検討. 第32回日本ダニ学会大会(2023. 9. 22-24)

○新村昭憲. 秋まき小麦の赤さび病に対する秋期防除の効果. 令和5年度日本植物病理学会北海道部会(2023. 10. 12-13)

○小谷野茂和, 新村昭憲, 櫻井道彦, 西脇由恵, 谷藤 健, 杉川陽一, 福川英司. 安定確収のための秋まき小麦有機栽培技術. 土壌肥料学会北海道支部秋季支部大会 (2023.12.8)

○下間悠士. 醸造用ぶどう苗木のポット育苗期に発生したキンケクチブトゾウムシ. 2023年度北海道応用動物・昆虫研究発表会 (2024.1.30)

○下間悠士. 物体検出AIと自動撮影カメラを組み合わせたコナガフェロモントラップの遠隔計数技術. 第77回北日本病害虫研究発表会 (2024.2.21~22)

○齊藤美樹, 佐藤翠音. 青色LED照射によるダイズのマメシクイガ被害抑制効果. 第68回日本応用動物昆虫学会大会 (2024.3.28~31)

企画調整部

○菅原 彰. 北海道の水田で発生したウキヤガラについて. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会講演会 (2023.12.2)

○富沢ゆい子. ハウス側窓の自動換気と連動するハウス内トンネルの自動開閉方法. 北海道園芸研究談話会 (2023.12.3)

○中山尊登, 安岡眞二, 小澤崇洋, 青野桂之, 大木健広. ジャガイモ黒あし病菌 *Pectobacterium wasabiae* の分類学的帰属の再検討. 日本植物病学会 (2024.3.13-15)

(3) 専門雑誌記事

作物開発部

○吉田昌幸. おうとう台木「コルト」の短所を改善する定植法. ニューカントリー7月号. p.82-83 (2023)

○吉田昌幸. オウトウ台木「コルト」の定植法. 農家の友8月号. p.78-79 (2023)

○阿出川さとみ. 培養変異による除草剤耐性小豆の作出と耐性遺伝資源の探索. 豆類時報 No.113. p.21-28(2023)

水田農業部

○山下陽子. 水稲新品種「空育195号」の特性. 農家の友5月号. p.42-43 (2023)

○山下陽子. 水稲新品種「空育195号」のご紹介. 農産技術だより第16号. p.4-6 (2023)

○山下陽子. 水稲新品種「空育195号」. アグリポート vol.16. p.25-26 (2023)

○熊谷聡. 収穫後並びに融雪後のほ場管理. 農産技術だより第17号. P.1-4 (2023)

○熊谷聡. 連載「北国の農業入門シリーズ」稲作の農業入門～「雑草と病害虫の防除」. ニューカントリー1月号. P.40-45 (2024)

○山下陽子. 中食・外食用途に適し、多収で耐病性に優れた北海道向け水稲新品種「そらきらり」の育成. 米麦改良誌3月号. p.2-6 (2024)

○小杉重順. 水稲「そらきらり(空育195号)」の栽培管理指標. ニューカントリー4月号. p.12-15(2024)

加工利用部

○大橋優二. 増収に伴い労働時間増加も貢献利益高く労働生産性は向上(環境・養分制御を用いた省力多収技術). ニューカントリー7月号. p.20-22. (2023)

○大橋優二. パイプハウスの環境制御でトマトをたくさんとろう. 農家の友8月号. p.72-74 (2023)

農業システム部

○山田洋文. 2020年農林業センサスを用いた北海道農業・農村の動向予測. ニューカントリー9月号. p.68-69 (2023)

○吉田裕介, 山田洋文, 金子剛. 農村施設の訪問価値を評価できる個人トラベルコスト法の実施マニュアル. 北農1月号. p.2-8 (2023)

○原圭祐. 駆動式除草機を効果的に使用することで除草時間が半減. ニューカントリー6月号. p.70-71 (2023)

○原圭祐. 水稲有機栽培における駆動式除草機の除草効果. 農家の友9月号. p.40-42 (2023)

○稲野一郎. 「北国の農業入門シリーズ」稲作の農業入門～「適期収穫」「収穫条件と刈取条件」「乾燥による品質低下の防止」「調製」. 農家の友2月号. p.60-67 (2024)

○農業システムグループ. なるほど新技術(水田の多面的機能を知るほど農村施設への訪問回数が多い―「個人トラベルコスト法」で訪問価値を評価する―). ニューカントリー11月号. p.70-71 (2023)

○稲野一郎. 令和5年度農産技術便り. 北海道農産協会16. P.1-3. (2023)

農業環境部

○須田達也. 十勝地域の酪農場における乳牛ふん尿処理物の肥料成分の現状と飼料用とうもろこしに対する窒素肥効評価. 北農. 90(2), p.16-20 (2023)

○杉川陽一. 受光効率を高め「きたほなみ」を安定生産. ニューカントリー. 70(4), p.18-20 (2023)

○杉川陽一. 受光効率を高め「きたほなみ」を安定して取る. 農家の友. 75(5), p.92-94 (2023)

- 小谷野茂和. 雑草を抑えて収量も安定 秋まき小麦有機栽培のコツ. 農家の友. 75 (7), p.75-77 (2023)
- 小谷野茂和. 有機栽培秋まき小麦—越冬性向上、雑草抑制、収量増加のための栽培法. ニューカントリー. 70(8), p. 76-77 (2023)
- 杉川陽一. 受光効率を高め「きたほなみ」を安定して取る. アグリポート. 47, p. 23-24 (2023)
- 小谷野茂和. 安定確収のための秋まき小麦有機栽培技術. あぐりさろん 21. 85, p. 3 (2023)
- 細淵幸雄. 水田土壌と施肥, 「農家の友」の北国の農業入門「稲作編」②. 農家の友. 75 (12) p. 107- (2023)

病虫部

- 道総研中央農試病虫部予察診断グループ. 令和 4 年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫. 北農. 第 90 巻 2 号, p. 128-140 (2023)
- 道総研中央農試病虫部予察診断グループ. 令和 5 年度に北海道で新たに発生を認めた病害虫. 農家の友. 3 月号, p. 4-7 (2024)
- 小澤 徹. 2023 年に特に注意を要する病害虫. ニューカントリー. 4 月号, p. 16-18 (2023)
- 西脇由恵. みどりの食料システム戦略実現に向けて活用が期待される成果(病害虫対策). グリーンテクノ情報. 70 号, p. 10-16 (2023)
- 西脇由恵. 2024 作物展望 病害虫. ニューカントリー. 1 月号, p. 60-62 (2023)
- 野津あゆみ. 令和 5 年度に北海道で新たに発生を認めた病害虫. 農家の友. 3 月号, p. 4-7 (2024)
- 下間悠士. 北海道におけるコナガのジアミド系薬剤感受性低下に対応した防除対策. 植物防疫. 10 月号. p. 19-25(2023)
- 下間悠士. コナガの薬剤感受性低下とキャベツの被害を同時に防ぐ. 農家の友. 11 月号. p. 41-43(2023)
- 下間悠士. コナガの薬剤感受性低下とキャベツの被害を同時に防ぐ. ニューカントリー. 3 月号. p. 76-78(2024)

企画調整部

- 富沢ゆい子. 子実用とうもろこし栽培のポイント. 農家の友. 8 月号, p.30-33(2023)
- 富沢ゆい子. 子実用トウモロコシの土壌診断に基づく窒素施肥管理. 畜産技術. 823, p.11-14 (2023)
- 小松 勉. 令和 5 年度地域農業技術センター連絡会議研究情報交換会報告. 北農. 91, 89-93(2023)
- 小松 勉. 北国の農業入門. 農家の友. 2 月号, p.56-58(2024)

- 植野玲一郎. マメの発芽率、簡単・キレイに見極めます！～豆類種子の発芽率調査の効率化（ペーパータオルを利用した豆類種子審査発芽率調査）. 農家の友 7 月号. p.78-79(2023)
- 植野玲一郎. ペーパータオルを利用した豆類種子審査発芽率調査の有効性検証. ニューカントリー 2 月号. p.76-77 (2024)

(4) 著編書資料

水田農業部

- 黒崎英樹. 雑草防除. III 優良米安定生産技術, 6 雑草防除. “北海道の米づくり 2023 年版”. 北海道農産協会編. 同発行, 2023. p. 154-162.
- 熊谷聡. II 北海道稲作の基本, 5 米の品質と食味. “北海道の米づくり 2023 年版”. 北海道農産協会編. 同発行, 2023. p. 74-82, 99-102.
- 熊谷聡. IV 多様な米づくり, クリーン農業と稲作栽培. “北海道の米づくり 2023 年版”. 北海道農産協会編. 同発行, 2023. p. 256-261 (2023)
- 小杉重順. IV 多様な米づくり, 2 省力化移植栽培法. “北海道の米づくり 2023 年版”. 北海道農産協会編. 同発行, 2023. p. 240-249.
- 熊谷聡. 水稻新品種「そらきらり」栽培マニュアル(成苗ポット編). “令和 5 年度水稻普及啓発資料”. 北海道農産協会編. 同発行, 2024. p. 1-19

農業システム部

- 原圭祐. ニューカントリー 2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る—基本の作業機からロボット農機まで(マルチャ・トンネル支柱打ち込み機)」。北海道共同組合通信社. p. 67-68 (2023)
- 原圭祐. ニューカントリー 2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る—基本の作業機からロボット農機まで(非駆動式除草機、駆動式除草機)」。北海道共同組合通信社. p. 79-81 (2023)
- 原圭祐. ニューカントリー 2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る—基本の作業機からロボット農機まで(ビートタツパ、チョツパタツパ、けん引式ビートハーベスタ、自走式ビートハーベスタ)」。北海道共同組合通信社. p. 95-98 (2023)
- 原圭祐. ニューカントリー 2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る—基本の作業機からロボット農機まで(大豆クリーナ、豆類研磨機)」。北海道共同組合通信社. p. 124-126 (2023)

- 原圭祐. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（可変施肥(小麦)」. 北海道共同組合通信社. p. 161-163 (2023)
- 石井耕太. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（粉剤散布機・粒剤散布機、ミスト散布機、スピードスプレーヤ）」. 北海道共同組合通信社. p. 75-78 (2023)
- 石井耕太. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（飼料稲WC S収穫機）」. 北海道共同組合通信社. p. 89-90 (2023)
- 稲野一郎. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（サブソイラ、プラソイラ）」. 北海道共同組合通信社. p. 31-32 (2023)
- 稲野一郎. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（ストーンクラッシュャ）」. 北海道共同組合通信社. p. 38-39 (2023)
- 稲野一郎. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（平滑ローラ、ケンブリッジローラ、カルチパッカ、クロスキルローラ）」. 北海道共同組合通信社. p. 43-45 (2023)
- 稲野一郎. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（あぜ草刈り機・ハンマーモア・ロータリモア）」. 北海道共同組合通信社. p. 82-83 (2023)
- 稲野一郎. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（ごぼうリフタ・ハーベスタ）」. 北海道共同組合通信社. p. 104-106 (2023)
- 稲野一郎. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（乾燥機（稲麦）」. 北海道共同組合通信社. p. 115-117 (2023)
- 稲野一郎. ニューカントリー2023 年秋季臨時増刊号「農業機械を知る－基本の作業機からロボット農機まで（選別機（水稻）」. 北海道共同組合通信社. p. 118-122 (2023)
- 稲野一郎. 令和6年産に向けての米づくり. VII良質・良食味米生産のための収穫・乾燥・調製と稲わら収集. 北海道農産協会. p.200-216 (2024)

農業環境部

- 竹内晴信. 5.1.2 北海道に分布する土壌の種類と生成

- 環境および改良. 日本の土壌事典. 朝倉書店 p. 125-126.
- 八木哲生. 5.5.2 土壌診断に基づく肥沃度管理. 日本の土壌事典. 朝倉書店 p. 138-140.
- 細淵幸雄. 5.7.2(3) 施肥・有機物施用と重金属負荷. 日本の土壌事典. 朝倉書店 p. 152-153.
- 小野寺政行. 5.8.2 北のクリーン農産物表示制度における土壌管理. 日本の土壌事典. 朝倉書店 p. 158-160.
- 細淵幸雄. 良食味米を目指した土壌管理, 施肥技術. “令和6年産に向けての米づくり”. 北海道農産協会編. 同発行, 2023. p. 45-79.
- 細淵幸雄. 北海道の水田土壌の特徴. “北海道の米づくり”. 北海道農産協会編. 同発行, 2023. p. 64-73.
- 杉川陽一. 良質小麦生産のための施肥および土壌管理. “北海道の小麦づくり”. 北海道農産協会編. 同発行, 2024. p. 53-84.

病虫害部

- 野津あゆみ. III 優良米安定生産技術 7. 病害虫防除. “北海道の米づくり (2023年版)”. 北海道農産協会編集, 同発行, 2024. p. 163-199.
- 齊藤美樹. 北海道の米作り 2023 年度版. IV多様な米づくり. “モニタリングを活用した発生対応型防除”. 北海道農産協会編. 同発行, 2023. p. 274-280.

企画調整部

- 佐々木亮. 「北海道農業入門」14 クリーン稲作. 農家の友2月号. p.59(2024)

(5) 新聞等記事

水田農業部

- 山下陽子. 多収でいもち病に強い水稻新品種「そらきり」. 農業共済新聞. (2023.11.15)

加工利用部

- 大橋優二. 環境・養分制御を用いた省力多収技術. 農業共済新聞(2023. 8. 16)

農業システム部

- 金子 剛. 米生産費の推移とその特徴. 農業機械北海道NO. 888. (2024. 1. 1)
- 金子 剛. 簡易分析手法を用いた酪農経営の収益構造分析. 根室生産農業協同組合連合会令和4年度根室管内酪農経営分析報告書 (2024. 2. 1)
- 原圭祐. 水稻有機栽培は駆動式除草機の効果的利用で

除草時間低減. 農業共済新聞. (2023. 5. 31)

農業環境部

○杉川陽一. 幼形期重点追肥で受光効率を高める. 農業共済新聞. (2023. 5. 24)

○小谷野茂和. 秋播き小麦有機栽培のコツー雑草抑え収量安定. 農業共済新聞. (2023. 8. 2)

病虫部

○新村昭憲. そらちで究める. 北海道新聞(2024. 2. 6)

○野津あゆみ. 令和 6 年度特に注意を要する病害虫. 農業共済新聞. (2024. 3. 13)